甲佐町オレンジ通信

令和６年３月　甲佐町地域包括支援センター

第 10 号（通巻第 90 号）

住み慣れた地域で暮らすために

まもなく、桜が開花しますね。

今年は、梅も早かったですね。土手のすみれも咲いています。

突然ですが、「年をとっても自分らしく生きる」とは、どの様に生きることだと思いますか？

都会では、孤立してしまった高齢者も多いかと思いますが、甲佐町の農村・福祉文化の中では、地元で支援をする方々がいて、高齢者が孤立しない様に声をかけてくださっています。ありがたいことです。

また、コロナ禍で途絶えていた地域のサロンや地区の活動も始まっています。

これからの季節は、各地区の花見でしょうか？楽しみですね。

さて、困った時、区長、民生委員・児童委員、地域福祉

推進員、隣人など、地域には優しく支援をしてくださる方々がいます。

しかし、自ら自分のことを話しておかないと、どういった福祉ニーズ（地域で生活する上で困ったこと・頼みたいこと）があるのか、支援をしてくださる方々にはわかりません。歳をとり、困ったことが増える前に、ご挨拶や自己紹介をして、仲良くつながりを持っておくと良いかもしれません。

自然な形で、地域の見守りをしてくださるこの方達は、見守りしている高齢者の方が、急にいなくなるととても心配されます。見守ってくれている方々の連絡先を書いておいて、急に入院した時等は、後でも良いので、自分や家族から連絡を入れてください。

「こんにちは、回覧です。」「大根取れたから持ってきたわ。元気ですか。」なんて、普段はあまり気に留めないかもしれませんが、れっきとした見守り活動です。

地域の皆さんが見守ってくれていることを心にとめておきましょう。

甲佐町地域包括支援センターでは、6 月から月に1回、全 10 回にわたって認知症に関する情報「甲佐町オレンジ通信」を発行します。

お問い合わせ先
甲佐町地域包括支援センター
（甲佐町役場 福祉課）
TEL 234－1114